

本号のテーマ：「読むこと・書くこと・行うこと」の実践

○ はじめに

去る4月4日、5日には、佐久市立小中学校全24校の入学式が行われ、順調に新年度がスタートしました。



佐久市教育委員会では、市長の願いも受けながら一昨年度より、入学式や卒業式での「教育委員会の言葉」の中で、それぞれの地域（佐久市全体に及ぶものも含め）にゆかりのある「佐久の先人」の偉業を紹介しています。先人のおかげで私たちの今がこのようなあるという感謝の念を抱いたり、夢や希望をもって歩むことの大切さを認識したりするきっかけとなるメッセージとして投げかけているものです。

本年度の入学式では、全小中学校共通で丸岡秀子氏をとりあげ、氏が唱えられた「読むこと・書くこと・行うこと」は自分づくりの根っことして大事なことであり、本市ではこれを「コスモスプラン」と称して、その実践を呼びかけていることを紹介しました。

さて本号ですが、新年度の出発に当たり、コスモスプランの実践に更なる追い風を吹かせたいという想いを込めて発信することにします。



〔丸岡秀子氏 石碑〕 稲荷山公園内〕

1 佐久市コスモスプラン



左図が「コスモスプラン」のイメージ図で、市内の諸施設に掲げさせていただいています。昨年度、市内の公立小中学校には、校内掲示用としてA1サイズの拡大版を新たに配布しました。

以下、少し図の説明をしましょう。

佐久市の市花はコスモスです。一人ひとりが自分らしく輝いて生きる、その個性豊かに咲き誇る花をコスモスに重ねています。そこには誰もが目指すところである「咲きます 咲かせます 自分の花」という言葉を付しました。

その花を支える茎から葉が茂り、太陽の光をもらいながら植物は光合成を行って生きているわけですが、人間の成長にとって不可欠な環境である家庭、学校、そして地域を、植物における光合成を行う場所（葉）に見立てて表現してあります。

さて、いよいよ根っこです。数多くの偉業を残された教育者の故東井義雄先生は、「根を養えば樹はおのずから育つ」とおっしゃっていますが、その「根」です。根は養分や水を吸い上げ、地上に茂る植物のからだを支えます。これは光合成におけ

る太陽の光のような外界（環境）に当たるものではありません。人間にあてはめるならば、自らの実践により自分をつくっていく営みということになりましょう。丸岡秀子氏が提唱された、「読むこと・書くこと・行うこと」の実践は、まさに「自分づくりの根っこ」として大事にしたいことなのです。

2 「コスモスプラン実践応援コーナー」の活用に向けて

一昨年7月、教育委員会のホームページに標記コーナーを立ち上げました。小・中・高校生のみなさんが日頃活動していることや考えていること、思っていること等をメッセージとして寄せていただき、「コスモスプラン」（読むこと・書くこと・行うこと）の実践を応援するコーナーにしたいと発案したものです。

しかしながら、私どものPRや一工夫が足りず、「活用」には至っていない状況です。申し訳ありません。一つの改善策として、「何でもどうぞ」というより、特集テーマをお示ししながら、寄稿意欲を刺激したいと考えました。現在、次に示すような特集計画（案）を検討中です。寄稿を通して改めて自分の考えを練り上げる機会にしたり、投稿された内容にふれて他から学ぶ機会としたり、・・・きっと「自分づくり」につながると思うことが多くあると思います。後日、同コーナーに、固まった編集計画を掲載しますので、ご覧ください。

コスモスプラン実践応援コーナー特集計画（案）

特集テーマ	特集期間
【心動いた授業】 ということ自分（たち）の感動的な学びを紹介する。 （「今日の大発見」「私の最高記録」「見つけた！」・・・など、個性的なタイトルで）	通 年
【行事（等）を通して学んだこと】 （遠足、音楽会、運動会、職業体験学習、文化祭など）	学校行事等後1か月間程度をめぐり
【読書感想】 （「感想」にとどまらないもの大歓迎）	通年とするが読書週間・旬間後がピークになりそう
【部活、班活と私】	通 年
【社会や大人にひとこと】	通 年

○ おわりに

29年度末教員人事異動で、本市から異動されたある校長先生の談で本号を結びたいと思います。

「佐久市のコスモスプランは子どもたちが成長するための根っことして大変有意義であることはもちろんですが、『読むこと・書くこと・行うこと』は、私自身が校長として、人として成長していくために大切にしたい三本柱だと考えています。」